

# 令和5年度 第2回横浜市障害者就労支援推進会議 次第

日時：令和6年3月14日（木）

午後14：30～16：30

場所：横浜市技能文化会館 801 研修室

## 1 開会

## 2 議題

(1) 「第19回 働きたい！わたしのシンポジウム」開催案について

資料1、資料2、資料3

(2) 意見交換

## 3 報告

令和6年度 予算概要について 資料4

## 4 閉会

# 令和5年度 横浜市障害者就労支援推進会議委員

(順不同・敬称略)

計13名

氏名	所属	分野	昨年度からの留任
しんぼ さとこ 眞保 智子	法政大学 現代福祉学部・大学院人間社会研究科 教授	学識経験者	☆
いしかわ ゆうこ 石川 祐子	横浜市心身障害児者を守る会連盟	障害者団体	☆
たかお ともり 高尾 智典	日本ピザハット株式会社	当事者	☆
こばやし ひでひこ 小林 秀彦	横浜東部就労支援センター 所長	就労支援	☆
きよた よしこ 清田 佳子	社会福祉法人同愛会 ダイア磯子	就労支援	
くさの ひとし 草野 仁志	株式会社 LITALICO パートナーズ LITALICO ワークス	就労支援	
やまき のぶひこ 山木 暢彦	社会福祉法人大樹 つるみ地域活動ホーム幹 鶴見区基幹相談支援センター	福祉	☆
いとう さえこ 伊藤 佐恵子	公益財団法人横浜市総合保健医療財団 磯子区生活支援センター	福祉	☆
いな ひとみ 伊奈 瞳	神奈川県立あおば支援学校	教育	☆
すどう くみこ 須藤 久美子	横浜公共職業安定所 専門援助部門 主任就職促進指導官	労働	☆
ごとう かずま 後藤 和馬	医療法人社団自立会	医療	☆
ふくだ ひろゆき 福田 裕行	生活協同組合コーコープ 人財開発部 人財開発課 障害者雇用支援 担当	企業	☆
おざわ まこと 男澤 誠	株式会社スリーハイ 代表取締役	企業	☆

## 事務局

きみわだ たけし 君和田 健	横浜市健康福祉局障害福祉保健部長
いまい ともこ 今井 智子	横浜市健康福祉局障害福祉保健部障害自立支援課長
うちやま ひろと 内山 博人	横浜市健康福祉局障害福祉保健部障害自立支援課就労支援係長

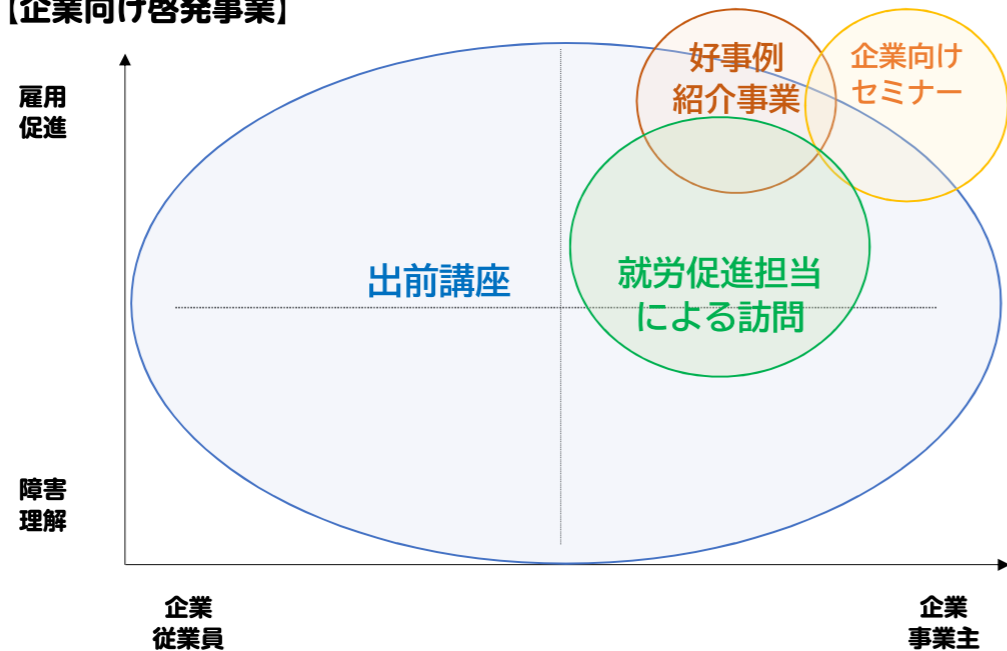
就労啓発事業は、障害者の「就労」について、当事者、企業（事業主・従業員）、障害福祉関係者、市民(地域)等に広く知っていただくことにより、就労機会の拡大や、「働く」ことを通じた障害理解の促進につなげることを目的とし、シンポジウム、研修、公共施設の活用など、様々な形で実施しています。

(※第4期障害者プランにおいても、「多様な働き方や障害者就労に対する理解促進」を取組のひとつとして掲げています。)

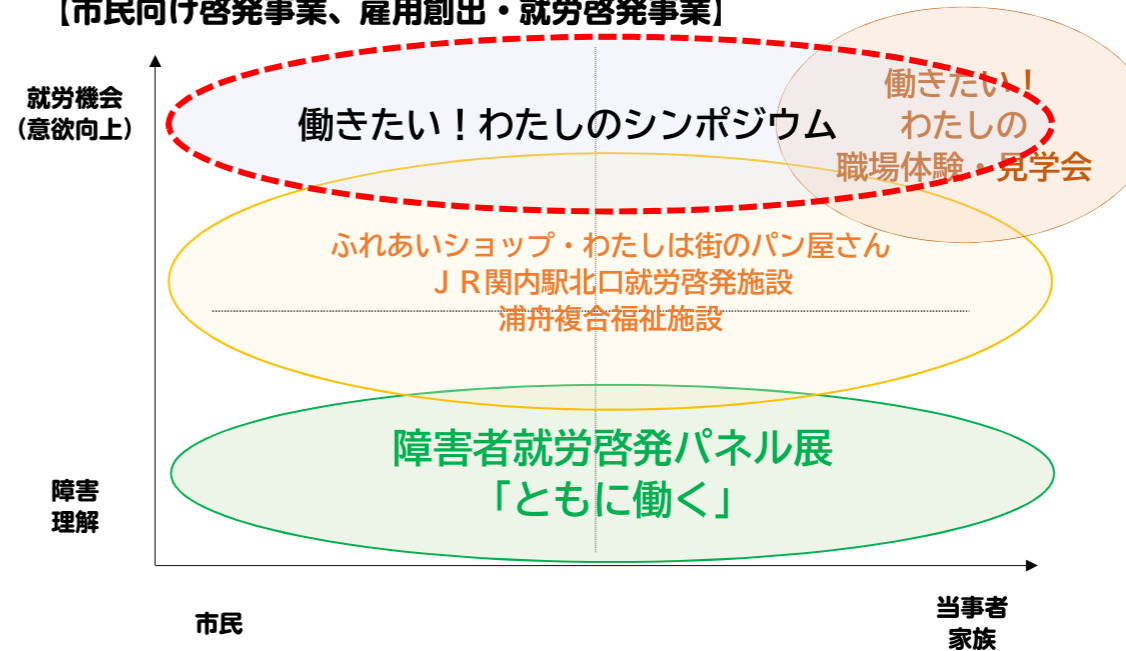
今後も引き続き、就労啓発事業をより効果的に実施できるよう、ターゲット層や実施手法等について検討を進めています。

事業		ターゲット層					実施方法等	雇用促進	(意欲向上)	障害理解
		当事者・家族	企業(事業主)	企業(従業員)	障害福祉関係者	市民(地域)				
企業向け啓発事業	出前講座		○	○			企業や経済団体等に出向き、障害者雇用に関する講座を実施	○		○
	障害者雇用好事例紹介事業		○				障害者雇用検討している企業を主対象に、横浜市内の障害者雇用企業の雇用の工夫や取組を紹介し、雇用促進を図る	○		
	就労促進担当職員による訪問		○				地元企業を中心に訪問を行い、障害者雇用の検討や実習受入れの協力を促す	○	○	
	企業向けセミナー ※神奈川県共催		○				雇用0人企業を対象とした、雇用企業の体験談の紹介や雇用に関する質疑応答等をメニューとする、小規模セミナーの実施	○		
市民向け啓発事業	働きたい！わたしのシンポジウム	○				○	当事者の経験談や支援機関の紹介等を通じ、働くということに対する理解促進を図る		○	
	障害者就労啓発パネル展「ともに働く」					○	障害者就労について考える機会を提供し、理解促進を図る			○
	働きたい！わたしの職場体験・見学会	○			○		福祉的就労をしている利用者・施設職員を対象に、地域の障害者雇用企業の見学を通じて、具体的な就労イメージを持つ機会を提供する		○	
	就職面接会 ※労働局・神奈川県共催	○	○				求職中の当事者が求人企業と一同に会す面接会を実施し、雇用機会の拡大を図る	○	○	
雇用創出・就労啓発事業	ふれあいショップ	○				○	公共施設内に飲食物の提供等を行う店舗を設置し、障害者を雇用し、広く市民に障害者就労を知る機会を提供する		○	○
	わたしは街のパン屋さん	○				○	市内にある障害福祉事業所で働く利用者が作成したパン等を市庁舎内で販売し、障害理解の促進や事業所の販売力の向上を図る		○	○
	J R 関内駅北口就労啓発施設	○				○	当該施設を障害者雇用及び雇用を通じた地域連携を図る事業者に貸付を行い、雇用の創出、障害理解の促進を図る		○	○
	浦舟複合福祉施設	○				○	当該施設の一部を障害者雇用及び雇用を通じた地域連携を図る事業者に貸付を行い、雇用の創出、障害理解の促進を図る		○	○

【企業向け啓発事業】



【市民向け啓発事業、雇用創出・就労啓発事業】



## 令和6年度「第19回 働きたい！わたしのシンポジウム」の開催内容について

### 1 「働きたい！わたしのシンポジウム」とは

#### (1) 概要・目的

障害のある方が「働く」ことについて理解を深め、「働きたい」と思えるきっかけをつくるイベントとして、平成16年度から毎年開催しています。（令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

このシンポジウムでは、障害のある方ご本人の視点を大切に、実際に働いている方や、雇用企業、就労支援機関の支援者等からの生の声を発信しています。

#### (2) 過去の実施結果

開催当初は、企業への雇用も限定的で職業訓練ができる場も少なかったため、訓練機関の紹介や、働く知的障害のある方の講演がメインでした。その後、職業訓練や企業で働く障害者が増え、平成30年度からは精神障害者も雇用促進法の対象となり、より障害のある方に対する雇用の機会が広がってきたことを受け、時勢によってテーマを変えながら開催しています。

#### 【過去5年間の実績】

開催回数（年度）	開催場所	参加人数
第13回（平成28年度）	戸塚区文化センター	650人
第14回（平成29年度）	鶴見区文化センター	530人
第15回（平成30年度）	保土ヶ谷公会堂	460人
第16回（令和元年度）	磯子公会堂	430人
第17回（令和4年度）	横浜市健康福祉総合センター	会場77人（YouTube：336再生）

#### 【過去5回のテーマ】

第13回           ：障害のある人の就労・職場定着について考えよう！

第14回～16回：障害のある人もない人も、共に「働く」ことを考えてみませんか？

第17回           ：「ともに働く」を考える



## 2 令和5年度「第18回 働きたい！わたしのシンポジウム」開催結果

第18回は、「様々な働き方がある」をテーマに、公募によって選ばれた障害のある方ご本人の体験談や就労支援機関の方々にご登壇いただきました。また、横浜戸塚就労支援センターの佐藤センター長より、「就労準備性」をテーマに、講演をしていただきました。

### 【第18回 開催の様子】



#### (1) 開催日時・場所

- ア 日時：令和6年2月7日（水）午後2時～午後4時（開場：午後1時30分）
- イ 場所：横浜市健康福祉総合センター 4階ホール

#### (2) プログラム

- ア 第1部 「体験談を聞こう！」～障害のある方・支援者からのメッセージ～  
公募によって選ばれた3組の方々にご登壇いただきました。  
また、当事者の話をもっと聞きたいというニーズを受け、質疑応答の時間を設けました。
- イ 横浜市の障害者雇用の取組について「横浜市役所で“はたらく”」  
横浜市総務局人事課・チャレンジドオフィスの職員の方ご本人から、チャレンジドオフィスでのお仕事の話をしていただきました。
- ウ 第2部 『働くためには何が必要？』～働くにあたって「身につけておくと良いこと」～  
就労準備性について、横浜戸塚就労支援センターの佐藤センター長より講演をしていただきました。

#### (3) 来場者数等

- ア 会場来場者数：171人
- イ YouTube ライブ配信再生回数：240回
- ウ YouTube アーカイブ配信再生回数：352回（3/13現在）  
※3月6日～3月31日まで配信予定

#### (4) 開催の広告手段

より一層集客を図るために、本市ホームページの他、様々な広報手段によって周知を行いました。

広報媒体	発信日	主な広報対象
横浜市記者発表（読売新聞に掲載されました）	1月11日	記者・市民全般
広報よこはま「はま情報」	1月号	市民全般
障害福祉情報サービスかながわ（らくらく）	1月12日	障害福祉事業所
障害福祉のあんないアプリ「プッシュ通知」	2月2日、6日	アプリ登録者
横浜市広報課 X（旧 Twitter）	2月5日	市民全般

#### 【チラシの配布先（一部抜粋）】

- ・「進路対策研究会」：横浜市内の特別支援学校高等部の進路担当者が参加
- ・「横浜市中学校特別支援教育研究会」：市内の個別支援級の学校の集まり
- ・「自立生活アシスタントと後見的支援室」
- ・18区役所（高齢・障害支援課、区政推進課広報係）への配架

#### 【メールによる関係団体周知】

- ・横浜市身体障害者団体連合会
- ・横浜市心身障害児者を守る会連盟
- ・横浜市精神障害者家族連合会
- ・横浜市精神障害者地域生活支援連合会
- ・横浜市障害者地域作業所連絡会

#### (5) アンケート結果

別添「第18回 働きたい！わたしのシンポジウム アンケート結果」参照

#### (6) 反省点や課題

ア 今回、登壇者を初めて公募により決定したが、申込者が精神障害・発達障害の方のみだったため、次回以降、知的障害者の方も応募しやすくなるよう、募集要項や募集期間を工夫する必要がある。

イ 登壇者が精神障害・発達障害の方のみだったため、知的障害の方には難しい内容となってしまった（アンケートでもご意見あり）

ウ コロナ禍が明けて初めてのシンポジウムだったが、会場の都合等もあり、物販などのその他コンテンツを企画することができなかった。

### 3 令和6年度 第19回目の開催に向けての検討案

令和4年の障害者雇用促進法の改正により「障害者の多様な就労ニーズを踏まえた働き方の推進」も求められていることから、来年度の開催については、引き続きテーマを「様々な働き方がある～Part2～」として、「多様な働き方」に焦点を当てた内容にしていきたいと考えています。

また、特設ブースを併設することで、障害者就労に対する「障害当事者・家族への機運醸成」や、「市役所来庁者への啓発」も図ります。

#### (1) 開催日・開催場所

ア 開催日 : 令和6年9月6日(金)横浜市役所1階 アトリウム

※「9月障害者雇用月間」に合わせて開催

イ 開催場所: 横浜市役所1階アトリウム ※収容人数 160席(椅子がある式典形式を想定)

市民協働推進センター ※収容人数 80~100席(レイアウトによって変更)

#### 【アトリウム使用例】



#### 【市民共同推進センター使用例】



#### (2) プログラム案

第19回の開催についても、メインプログラムは第18回と変わらず、「障害当事者からのメッセージ(登壇)」と「障害者就労に係る講演」を中心に考えています。

##### 【予定プログラム】

第1部 「当事者・支援者からのメッセージ」

※3組程度を想定

第2部 「障害者就労に関する講演」

※障害当事者やそのご家族の方が、  
知りたいと思う内容をテーマにする。

##### 【参考 過去の登壇プログラム(一部)】

- ・障害当事者よるダンスパフォーマンスやコンサート
- ・障害当事者、支援機関のリレートーク
- ・企業講演「企業の実例を知ろう」等
- ※障害者を雇用している企業からの講演

### (3) 併設コンテンツ案

壇上での登壇や講演に加えて、横浜市役所1階アトリウムや市民協働推進センター等の会場の特性を利用して、会場の中で様々なコンテンツ（特設ブースなど）を展開することで、障害者就労に対する「機運の醸成」だけでなく、市庁舎に来庁している「一般市民への啓発」も同時に図りたいと考えています。

どのようなコンテンツを展開するかについては、現段階ではアイデアの状態であり、本会議のご意見も踏まえながら、実現の可否も含め検討を進めていきます。

#### ア 「情報・相談ブース」「企業紹介ブース」等の設置

就労に向けて、「どのような制度があるのか」「どのような事業所があるのか」等の、障害のある方ご本人や、ご家族の方への情報を提供したり、相談を受ける「情報・相談ブース」や、障害者雇用好事例紹介で横浜市HPに掲載されている企業などを紹介する「企業紹介ブース」等を同時開設することで、就労へのモチベーションをそのままに相談できるようにする。

#### イ 障害福祉事業所による販売会

シンポジウム会場に「わたしは街のパン屋さん」や「農福マルシェ」、「障害福祉事業所の製品」の販売を行うブースを設けて、市役所に来ている一般市民の方にも啓発を行う。

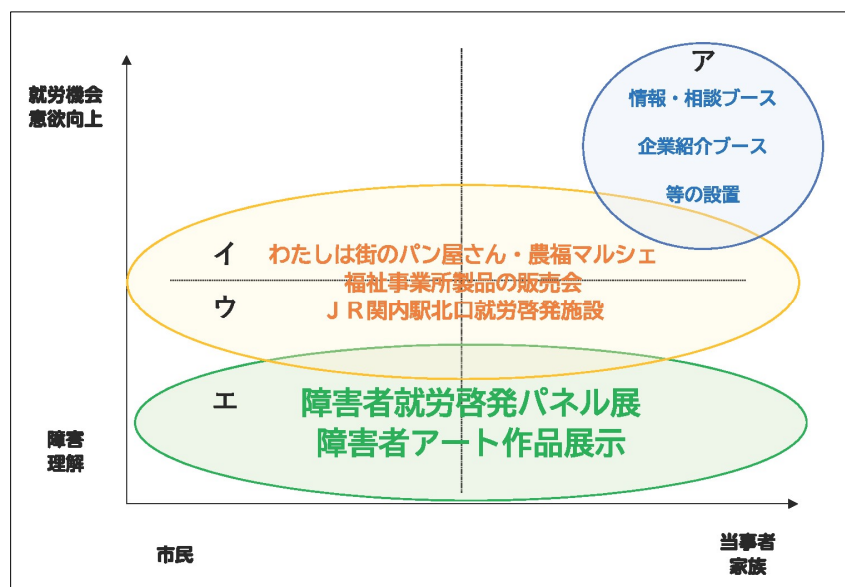
#### ウ J R 関内駅北口就労啓発施設との連携

「Café ツムギ station」と連携し、障害者の多様な就労形態の啓発を図る。

#### エ 啓発パネルや障害者のアート作品等の展示による啓発

啓発パネルや障害のある方が作成したアート作品を展示し、障害理解の啓発を図る

#### 【コンテンツの効果】





#### (4) 登壇者公募事務の改善に関して

令和5年度開催において、登壇者を公募とした結果、申込者が精神障害・発達障害の方の応募のみとなり、知的障害の方の応募が無かったため、アンケートでも、「知的障害の方には少し難しい内容」、という意見がありました。

そのため来年度は、知的障害の方も応募しやすいような対応策として、「周知方法」や「応募期間」を改善したいと考えています。

##### ア 「登壇者募集」の広報チラシの作成

知的障害の方にとっては、現行の募集要項や開催チラシでは、内容が理解しづらいことも想定されるため、募集要領に先駆けて、知的障害者の方でも理解しやすいような内容で、「登壇者を募集します！」というチラシを作成し、事前に周知を行う。

事業所支援員や特別支援学校の教員の方々が、知的障害のある方に説明しやすい内容を想定

##### イ 募集期間の見直しや拡大

知的障害のある方への応募やイベント等の情報周知については、事業所支援員や特別支援学校の教員の方々から本人へ勧められることも多く、情報がいきわたるまでに一定の期間が必要と思われるため、公募のエントリー期間を知的障害の方のみ、前倒しにしたり、期間を長くするなどの対応を行う。

##### ウ 周知先事業所の検討

知的の障害の方に多く周知ができるよう就労継続支援A型・B型事業所、グループホームなどにも登壇者募集の周知を行う。

また、本市ホームページ以外の周知媒体も検討する。

#### 【今年度・来年度案の比較】

	資料	募集期間	周知対象・方法
5年度 (第18回)	募集要領のみ (ルビ有だが内容は通常)	約3週間 (10/17~11/10)	移行支援事業所中心 市HPにて募集
6年度 (第19回)	募集チラシ(平易な内容) 募集要領(昨年度と同等)	最低1か月 (予定)	A型・B型、GH等も含める HP以外の媒体も検討

## 「第18回 働きたい！私のシンポジウム」アンケート結果

回答者数 75人(3/12現在)

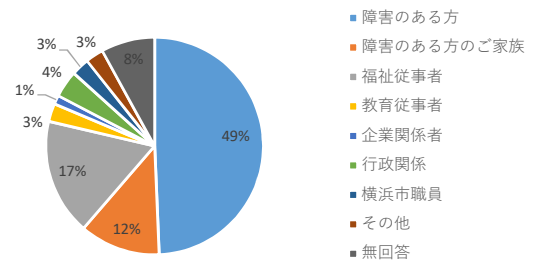
(1)参加方法について教えてください。

回答	回答数	割合
会場参加	68	90.7%
YouTube配信	6	8.0%
YouTube配信(アライブ)	1	1.3%
総計	75	100.0%

(2) あなた自身について、教えてください

回答	回答数	割合
障害のある方	37	49.3%
障害のある方のご家族	9	12.0%
福祉従事者	13	17.3%
教育従事者	2	2.7%
企業関係者	1	1.3%
行政関係者	3	4.0%
横浜市職員	2	2.7%
その他	2	2.7%
無回答	6	8.0%
総計	75	100.0%

あなた自身について、教えてください



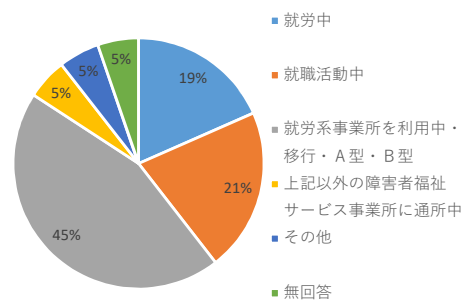
「障害のある方」とお答えした方に伺います。該当するものにチェックをお願いします。(37名・複数障害有)

回答	回答数	割合
身体障害	2	4.8%
知的障害	13	31.0%
精神障害	24	57.1%
その他	3	7.1%
総計	42	100.0%

「障害のある方」とお答えした方に伺います。現在の状況を教えてください。(37名・複数回答有)

回答	回答数	割合
就労中	7	18.4%
就職活動中	8	21.1%
就労系事業所を利用中(移行・A型・B型)	17	44.7%
上記以外の障害者福祉サービス事業所に通所中	2	5.3%
その他	2	5.3%
無回答	2	5.3%
総計	38	100.0%

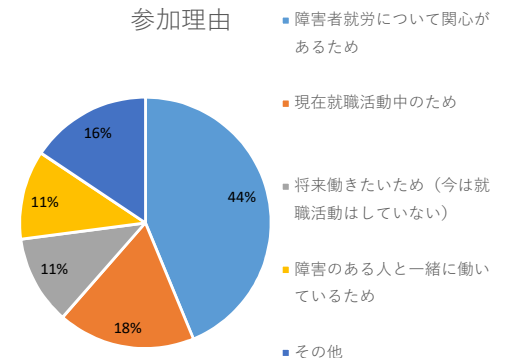
現在の状況



(3) シンポジウムの参加理由を、教えてください。(複数回答可)

回答	回答数	割合
障害者就労について関心があるため	42	43.8%
現在、就職活動中のため	17	17.7%
障害のある人と一緒に働いているため	11	11.5%
将来、働きたいため(今は、就職活動はしていない)	11	11.5%
その他	15	15.6%
総計	96	100.0%

参加理由



「その他」と答えた方に伺います。どのような理由がお答えください。(一部抜粋)

- ・子が障害者で、就労を希望しているから
- ・子が就職活動中のため
- ・子が登壇したいと考えていて、興味もあったから
- ・民間企業の人事担当者として、障害者雇用に当たり実際に働いている人のお話を伺いたかったため
- ・就労支援をしており、障害を抱えている方への支援も積極的に行っていく為、様々な情報を得たいから

(4) このシンポジウムを、何で知りましたか(複数回答可)

回答	回答数	割合
広報よこはま	5	6.3%
市ホームページ	5	6.3%
市のSNS	4	5.1%
記者発表資料	2	2.5%
区役所のチラシ	7	8.9%
友人・知人から	4	5.1%
所属する団体から	10	12.7%
福祉事業所の職員から	26	32.9%
その他	16	20.3%
総計	79	100.0%

(5)「働きたい！わたしのシンポジウム」に参加するのは、何回目ですか。

回答	回答数	割合
今回が初めて	55	73.3%
2回目	10	13.3%
3回以上	7	9.3%
無回答	3	4.0%
総計	75	100.0%

(6) 本日のシンポジウムについて、感想や意見をお聞かせください。

回答	回答数	割合
非常に良かった	29	38.7%
良かった	28	37.3%
普通	11	14.7%
やや物足りない	1	1.3%
物足りない	1	1.3%
無回答	5	6.7%
総計	75	100.0%

本日のシンポジウムについて、感想や意見をお聞かせください(一部抜粋)

- ・障害をかかえた方達からどのように就職を成功させたかまたその成功にはどのような努力があったかというお話を聞いたのが良かったです。
- ・障害者雇用で仕事をされている方から、生の声をきけて、とても良かったです
- ・実体験を聞けて良かったです。働く側の事実、意見、感想はとても重要だと思います。
- ・体験談等、普段聴くことが出来ない話を聴けてとても良かった
- ・当事者の体験が迷いをかかえる他の当事者の勇気付けとなる場として最適であったと思います。
- ・同じような状況におかれていた人の話がきけて良かった
- ・色々な人がいて刺激になった。自分も登壇してみたい。
- ・講演者それぞれの働くことの原動力となる価値観について自身に当てはめて共感しながら考えることができた。
- ・年々、内容が具体的になっていると思います。知的障害の方には少し難しいところもありましたが、今回は質問も多く非常に面白い内容でした。
- ・事業所の対象が知的がメインであるため、精神系が多く、利用者さんには難しい面があった。
- ・自己開示など難しい言葉もあり、知的障害の人にはむずかしい部分があったような気がします。

(7) 次回、聞きたい内容や、取り上げて欲しいテーマがあれば、記入してください。(一部抜粋)

- ・愛の手帳B1の孫がいる者ですが、知的障害者が働ける事業所であったり行政支援等をもっと知りたいです。
- ・面接を含む就職活動について、成功したこと、失敗したこと等具体的なエピソードを聞きたいです。
- ・知的障害のある方達の就労に向けての具体的な話も聞ける機会があると嬉しい。
- ・特別支援学校などの卒業生の就労の話
- ・新規(2～3年)で障害者雇用を行っている会社様の発表もあると尚、有難いです。
- ・職場での具体的な仕事内容や配慮事項の例などがわかる機会
- ・支援する機関での具体的などの様な支援をされて就労に結び付けているのかを紹介してほしい
- ・障害者雇用の就業先について、どのような利点や苦労があるかを知りたいです。
- ・障がい者ご本人や就労移行支援施設の方から就職するにあたり、企業側に求めることを聞きたいです。
- ・障害をオープンにした場合の一般的な就労賃金や雇う側の会社の支援制度について

(8) 就労にあたって(シボゾウムに限らず)、もっと知りたい事や参加してみたいイベントなどがあれば、ご記入ください。(一部抜粋)

- ・障害者枠での就労当事者同士の共有、相談、交流の場
- ・働く目的についての当事者会(当事者同士の交流会)
- ・すでに就職された方との交流会
- ・企業の人事採用者による話
- ・企業の仕事内容や就労させる工夫・配慮などをあげて発表
- ・障がい者を受け入れる側に向けたセミナーなどあれば参加したいです。

(9) どこに住んでいますか。

回答	回答数	割合
横浜市	54	72.0%
横浜市以外	8	10.7%
無回答	13	17.3%
総計	75	100.0%

(10) 「働くこと」について相談できる場所(人)はありますか。

回答	回答数	割合
はい	39	52.0%
いいえ	12	16.0%
無回答	24	32.0%
総計	75	100.0%

## 資料4

24	障害者の 就労支援		事業内容
	本年度	3億4,172万円	<b>1 障害者就労支援センター事業</b> <b>3億613万円（3億51万円）</b> 障害者の就労・定着支援等を行う障害者就労支援センターの運営補助を行い、就労を希望している障害者への継続した支援を関係機関等と連携して行います。 ・障害者就労支援センターの運営 9か所
	前年度	3億3,378万円	<b>2 障害者共同受注事業【基金】〈拡充〉</b> <b>2,191万円（2,045万円）</b> 横浜市障害者共同受注センターの運営等により、企業等から障害者施設への発注促進や自主製品の販路拡大等、包括的なコーディネートを行います。 また、 <u>障害福祉事業所の受注促進のため、農作業受注促進モデル事業</u> を行います。
	差引	794万円	<b>3 障害者の就労啓発等</b> <b>1,368万円（1,282万円）</b> 障害者の就労・雇用への理解を広げるため、企業を対象としたセミナー等の開催や、障害福祉事業所が作成した商品販売の支援、本市の施設を活用した障害者の就労啓発等を行います。
本年度の 財源内訳	国	—	
	県	—	
	その他	1,319万円	
	市費	3億2,853万円	